



Vol. **3**

# 日本拳法通信

Nippon Kempo tsushin



**女子優勝は、2年連続の快拳を達成。**

特集 全・日本拳法総合選手権大会

**男子優勝は、2年連続の学生が制覇。**



# 日本拳法の明日に向けて

～日本拳法の発展を願う座談会～

今回は、新たな取り組みとして、日本拳法会の部長の方々にお集まりいただき、日本拳法の発展のためのお話をさせていただきました。

日頃は聞けないような貴重なご意見がたくさん出ましたので、その一部をご紹介します。

●座談会日時 2004年9月16日(木)午後7時～9時

●参加メンバー(敬称略)

- 総務部長 …… 茂野直久
- 技術部長 …… 雑古哲夫
- 開発部長 …… 緒方憲吾
- 女子部長 …… 長江和子
- 広報部長 …… 伊藤達雄

かったです。

進行 確か男性に混じって昇段級審査を受けられたんですよね。

進行 今日はお忙しい中お集まりいただき有難うございます。日本拳法発展のために忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思えます。

まず、日本拳法を始められたきっかけは何かですか。

長江 子供が幼稚園の時にいじめられたので、習わすことにしたんです。私は付き添いで最初は見学をしていたのですが、時間ももったいないし、私も強くなりた

長江 当時は女性だけの審査が確立されていなかったため、男性に混じって審査を受けました。男性と防具の試合をしたのですが、面の中の顔が女性だとわかった時の、相手のハッとした顔が今でも忘れられません。女性には負けられないと思ったのでしょう(笑)。今も女性の最

雑古 僕が始めたのは、高校入学時、中学までしていた空手を見学に行っ



た際、横で乱稽古をしてたんです。たいしたことないなあ、コレなら一番になれる、と思って入部したんですが、甘かったですね(笑)。

長江 大学に入学した時に勧誘を受けました。段々でも、蹴っても、転がしても踏んでも、何やってもいいんや。と言われて、これは面白そうやと思って入ったのがきっかけです。

緒方 僕は、子供の誕生を機会に、何か頑張ること、汗を流すことがしたかった。仕事柄、顔に傷がつくとまずいので、防具のある拳法を選びました。昨年まで女子部長をしていたのですが、拳法発展のためには、女子部員や少年・少女部員が増えることだと思います。



雑古 安い防具を考案するのも、拳法発展のためには必要だと思っ。6万も8万円もするというのが普及の妨げになっているのところがうかな。安全でかつ2万ぐらいの防具があれば、拳法をやってみようという気になると思う。中国なんか作られないかなあ。人件費の安い国で

長江 賛成です。でも女性が日本拳法をしているって言うだけで、見る目が変わるんですよ。



伊藤 コレからは、女性の時代だからそんな見方もきつと変わってくるでしょう。

長江 チャーリースエンジェルのように、魅力的で強い女性を目指したいですね(笑)。

雑古 安い防具を考案するのも、拳法発展のためには必要だと思っ。6万も8万円もするというのが普及の妨げになっているのところがうかな。安全でかつ2万ぐらいの防具があれば、拳法をやってみようという気になると思う。中国なんか作られないかなあ。人件費の安い国で

作って、日本拳法会が販売すれば、収益も上がるんとかうかな。その時は、紐をマジックテープにするとか、人に頼らなくても自分で簡単に着装できることを念頭に入れて…。

**長江**：女子の場合、重くて大きい防具や男性と同じ股当てが本当に必要なのか？と思うことがあります。今後は科学的な説明も必要でしょう。女子部として新しい股当てを提案しましたが、新素材の軽くて安全なものなど、まだまだ改良の余地があると思います。防具に重きをおく日本拳法だから、もっと考えていかなければなりませんね。他の格闘技も防具の開発をしていることですし、新しい視点で防具も考えていかなければ…。

**緒方**：おっしゃるとおり、防具が安全で安くできればコレにこしたことはない。開発部としてもできる限り取り組んで行きますよ。それと人事育成も、重要なことです。組織運営や後輩の指導をしっかりで

きる人が必要です。開発部ではこのことにも力を注ぎたいと考えてます。また、西日本本部もできたので、体制の整った全国組織の中味を充実させることも大切ですね。

**長江**：3年以内には、オール女子の大会を実施したいです。試合会場など、色々な問題を解決しなければなりません。今は、これを目標に活動を進めています。これにはマスクミを巻き込んで大いに宣伝することも考えています。

**鎌古**：技術部としては、現在2段以上の者を対象として、年間6回の技術研修会（合同練習会を含む）を実施しています。技術部員全員で練った研修会なので、大変有意義なイベントです。この高段者の技術研修に加えて、高校生（入門初期）を対象とした技術研修を実施することで、日本拳法の将来的な発展に結びつければ、と考えています。

**茂野**：こうやって色々な人の話が聞けるっていい事です。総務の役目は、内部全般に関することが多いです。そのため、各部署や組織に対しての連絡や調整をします。何か疑問があれば、総務にメールでもしてもらえば返事を返せるようにしたいですね。それと、何か事案が出てきた場合、どこの部署が担当するのか、をはっきりさせること。その部署が責任を持つて事を進め、かつ処理をして行く。決裁が必要ならばその担当部署が出した結論を部長会等で諮る、というのが必要です。もちろん

ひとつの部だけではなくて、前の法人化の時にもしたように、プロジェクトチームで進めていくというのもありき。



**鎌古**：連絡には、ネットをもっと上手く利用する手もあるね。コレは余談ですが、ネットで日本拳法ゲームなんてできたら、楽しんでルールなんかも字んでもらえる

かも。広報で考えてみたら(笑)。

**伊藤**：将来的には面白いね(笑)。それより今は、3本部制（東日本・中部日本・西日本）が確立されたので、お互いにかかりスクラムを組んで日本拳法の普及・発展のために前進することが大切です。そのためには皆さんのお力をお借りしなければ進まないと思います。これからもよろしくお願いします。



**進行**：皆様貴重なご意見を有難うございました。日本拳法の発展を心より願っております。

■スペースの問題で今回は座談会の一部しか掲載できませんでしたが、その他、女子部発展のための課題、連盟間のコミュニケーションの問題、日本拳法全体としての組織化の問題等、今後解決していくべき価値あるテーマがたくさん伺われ、有意義な座談会となりました。皆さん、ご協力を有難うございました。

## 日本拳法Q&A

**Q1** 日本拳法は荒っぽくて危険なイメージがあるのですが、

**A** 安全に稽古が出来る防具を創案し、自由に打ち合う試合が可能になりました。基本をしっかり学び防具を正しく使用すればいたって安全な競技です。

**Q2** 日本拳法の試合結果や色々なことが知りたいのですが、

**A** 日本拳法会ホームページを開設しています。澤山宗海宗家のお話や小西会長のメッセージ、大会結果、また形や試合を動画でご覧いただけます。れからもHPを通して色々な情報を提供し、開かれた日本拳法を目指していきます。

<http://www.nipponkempo.gr.jp>

**Q3** 日本拳法は国体に参加していますか、

**A** 2005年の「晴れの国おかやま国体」にデモスポ行事として参加します。ご期待ください。

**Q4** 日本拳法西日本本部とは？

**A** 全国連盟のなかに西日本本部が本年4月、正式に発足しました。これで日本拳法全国連盟に東日本本部、中部日本本部、西日本本部の3本部制が確立されました。今後は「国体をめざして」の意図に向け、3本部がしっかり連携をとり進んでいきます。

**Q5** 怕の道場や学生の人と一緒に稽古をしたいのですが、

**A** 技術部が開催する技術研修会や指導部の指導者研修会があります。合同練習会もありますので積極的に参加し、交流を深めるとともに技術力の向上を目指してください。

**Q6** 女子同志で連絡をしたり女子連盟の活動内容などを知りたいのですが、

**A** 日本拳法会ホームページから女子連盟にリンクしていますのでご覧ください。いろんな情報が得られます。